

第十三回ごふく美馬伝統芸能の夕べ

尾上右近

第一回 高知公演



一、素浄瑠璃

四季三葉草

二、スペシヤルトーク

三、舞踊上

保名

下

浮かれ坊主

令和元年 9月11日[水] 午後6時30分 開演 (午後6時 開場)

高知市文化プラザかるぽーと大ホール

尾上右近 第一回高知公演

一、素浄瑠璃
四季三葉草

清元榮寿太夫
清元齋 寿 社中

二、スペシャルトーク

上 保名

安倍保名 尾上右近

下 浮かれ坊主

願人坊主 尾上右近

〈四季三葉草〉

能の式三番から派生した古典芸能の一大ジャンルである『三番叟物』の一つ。詞章には四季の花が巧みに織り込まれ、荘重な中にも清元ならではの小粋さ、軽やかさがあふれる祝儀曲。尾上右近こと清元榮寿太夫が兄の齋寿はじめ清元連中と華やかに幕開きを飾ります。

〈スペシャルトーク〉

歌舞伎と清元、二つの道で精進を重ねる右近が、今回の公演に寄せる思いと各演目に対する意気込み、そして未来の夢を熱く語ります。

〈保名〉

右近の二人の曾祖父：六代目尾上菊五郎と五世清元延寿太夫が大正11年に新しい工夫を凝らして大当りを取り、今日まで続く人気曲となった清元舞踊の名作。陰陽師・安倍晴明の父とされる安倍保名は、恋人の死を嘆くあまり物狂いとなり、形見の小袖を抱いて春の野をさまよい歩きます。つがいの蝶が羽を交わして戯れ飛ぶのを見ては羨み、小袖を見つけては「恋人がいた」と喜びますが、やがて幻と知り、伏し沈むのです。

〈浮かれ坊主〉

もともと常磐津であったのを昭和4年に六代目菊五郎が五世延寿太夫との名コンビで清元に改作。江戸時代に物乞いをしながら代願・代参をした門付芸人「願人坊主」を舞踊化したもの。派手な禪に紗の十徳という裸同然の姿で老若男女を踊り分ける至難の曲。「踊りの神様」と呼ばれた曾祖父の当り芸に右近が初役で挑みます。

尾上右近 Onoe Ukon

清元宗家・七世清元延寿太夫の次男。曾祖父に近代歌舞伎の名優・六代目尾上菊五郎、母方の祖父に銀幕の大スター・鶴田浩二を持つサラブレッド。7歳で歌舞伎座『舞鶴雪月花』において初舞台。12歳で新橋演舞場『人情断文七元結』のお久で二代目尾上右近を襲名。2018年1月、清元榮寿太夫を襲名し浄瑠璃方としても活躍中。



いま最も熱い伝統芸能界の
サラブレッドが
血をたぎらせて見せる家の藝
これぞ「江戸の粋」!

若手実力派歌舞伎俳優として人気上昇中の尾上右近丈を迎え、歌舞伎舞踊と清元の魅力をお伝えする特別公演を開催いたします。「莊重」「優美」「洒脱」三曲三様の鮮やかな変身ぶりをどうぞご堪能下さいませ。

ご観覧料(税込) 全席指定 S席(1階)9,000円・A席(2階)5,000円

主催・お問い合わせ先 ごふく美馬 高知市追手筋 1-9-11 TEL:088-824-5298 共催 (公財) 高知市文化振興事業団

7月20日(土)より一般販売開始 チケット販売所 かるぽーとミュージアムショップ/高知県民文化ホール/高知大丸プレイガイド